

特別支援学級 国語科学習指導案

日 時：令和3年11月16日（火）第5校時
場 所：清水小学校 はなもも教室
授業者：澤田 有菜

1 単元名 「なかまあつめ」

2 単元・教材について

本単元は「もの名前を集めてお店屋さんごっこをする」ことを言語活動として設定している。教科書に載っているもの名前だけでなく、身近なものを想起しながら「何屋さんになりたいか」を児童自身が選択し、学習課題を設定して主体的な学びにつなげる。「お店の人」と「お客さん」としての言葉のやり取りをする活動を通して、上位語と下位語の関係を実感を持って理解することが深い学びの実現となる。「お店の名前（上位語）」に沿って仲間集めをすることにより、「もの名前（下位語）」の語彙を習得し正しく表記すること、ものと言葉を一致させることができるようにする。店員と客という立場や状況を踏まえて、言葉遣いや声の大きさを考えたり、相手の求めに応じる返答をすることで会話を成り立たせようしたりする学習にもつながるようにする。

また、単位時間の流れをパターン化し、何度も繰り返すことで身に付けたり、「正しく表記すること」「ものと言葉を一致させること」「話をよく聞き、対応すること」など一人一人の実態に合った目標を設定したりと、特別支援学級ならではの単元を仕組むことができる。

3 研究との関わり

- (I) - 1 単元の終末の「お店屋さんごっこ」を行うという自分の学びを發揮する場に向かって、単元指導計画を作成する。
- (II) - 2 ペア学習を通して、言葉の使い方や声の大きさなどの伝え合う技能を身に付け、表現できるようにする。

4 単元の目標

- ◎仲間集めをすることを通して、上位語と下位語の関係性に気付き、語彙の習得や正しい表記の仕方を学ぶことができる。
- ◎「お店屋さんごっこ」を通して、相手の要求をよく聞き、正しく伝え合う活動を行うことができる。

単元の評価規準

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
身近なことを表す語句の量を増し、言葉には語句のまとまりがあることに気付いている。(1オ) 言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気付いている。(1ア)	「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつないでいる。(A1オ)	積極的に下位語を考え、仲間に伝えようとしている。 「お店屋さんごっこ」に興味をもち、店員として積極的に客に関わろうとしている。

5 単元指導計画

時	単位時間の目標	評価規準	並行読書
1 1	「もの名前え」を読む活動を通して、「もの名前を集めてお店屋さんごっこをする」という学習課題を理解し、学習の見通しをもつことができる。	知っているお店屋や商品について発表することで、「お店屋さんごっこ」をするに興味をもち、学習の見通しをもつ。(学びに向かう力・人間性等)	学研の図鑑 花(学研) ／はたらくのりもの(小学館)
2 2	「動物」の仲間集めをする活動を通して、「動物」の下位語を考えて、発表し、正しく表記し、「お店屋さんごっこ」で必要になる言葉を考えることができる。	「ぞう」「ぶた」「ねこ」等の下位語を考え、正しく表記している。(知識・技能) 店員・客のセリフを考えている。(思考力・判断力・表現力)	
3 2	「乗り物」の仲間集めをする活動を通して、「乗り物」の下位語を考えて、発表し、正しく表記し、「お店屋さんごっこ」の流れを確認することができる。	「自動車」「バス」「新幹線」等の下位語を考え、正しく表記している。(知識・技能) 店員・客のどちらの立場のセリフかを考えている。(思考力・判断力・表現力)	
4 2	「果物」の仲間集めをする活動を通して、「果物」の下位語を考えて、発表し、正しく表記し、ペア学習の仕方を理解することができる。	「いちご」「バナナ」「りんご」等の下位語を考え、正しく表記している。ペア学習の仕方を理解している。(知識・技能)	
5 2	「魚」の仲間集めをする活動を通して、「魚」の下位語を考えて、発表し、正しく表記することができる。ペア学習で「お店屋さんごっこ」の練習をすることができる。	「まぐろ」「あじ」「たい」等の下位語を考え、正しく表記している。(知識・技能) ペアで「お店屋さんごっこ」のやり取りをしている。(思考力・判断力・表現力)	
6 2	「野菜」の仲間集めをする活動を通して、「野菜」の下位語を考えて、発表し、正しく表記することができる。ペア学習で「お店屋さんごっこ」の練習をすることができる。	「きゅうり」「ピーマン」「なす」等の下位語を考え、正しく表記している。(知識・技能) ペアで「お店屋さんごっこ」のやり取りをしている。(思考力・判断力・表現力)	
7 2	「花」の仲間集めをする活動を通して、「花」の下位語を考えて発表し、正しく表記することができる。ペア学習で「お店屋さんごっこ」の練習をすることができる。	「ひまわり」「バラ」「チューリップ」等の下位語を考え、正しく表記している。(知識・技能) ペアで「お店屋さんごっこ」のやり取りをしている。(思考力・判断力・表現力)	
8 3	「乗り物」の仲間集めをする活動を通して、言葉とものを一致させ、正しく表現し、表記することができる。また「お店屋さんごっこ」を通して、商品の有無を確認することができる。	図鑑などを見て、さらに「乗り物」の下位語を見つけ、正しく表記している。相手の言葉を聞き取り、商品のカードを見て商品の有無を確認している。(知識・技能)	
9 3	「果物」の仲間集めをする活動を通して、言葉とものを一致させ、正しく表現し、表記することができる。また「お店屋さんごっこ」を通して、商品がない場合には、「すみません」「他にほしいものはありますか。」と返答することができる。	図鑑などを見て、さらに「果物」の下位語を見つけ、正しく表記している。(知識・技能) 客が要求する商品がない場合の伝え方を考え、表現している。(思考力・判断力・表現力)	
10 3	「野菜」の仲間集めをする活動を通して、言葉とものを一致させ、正しく表現し、表記することができる。また「お店屋さんごっこ」を通して、数の数え方を正しく表現することができる。	図鑑などを見て、さらに「野菜」の下位語を見つけ、正しく表記している。数え方を正しく表現している。(知識・技能)	
11 本時	「花」の仲間集めをする活動を通して、言葉とものを一致させ、正しく表現し、表記することができる。また「お店屋さんごっこ」を通して、店員と客に分かれ、正しく伝え合うことができる。	図鑑などを見て、さらに「花」の下位語を見つけ、正しく表記している。(知識・技能) 店員・客の立場に立って、伝え合い方を考え表現をしている。(思考力・判断力・表現力)	
12 13	はなもも学級の他の児童や教師、保護者を客に迎え、「お店屋さんごっこ」をすることができる。	「お店屋さんごっこ」に必要な道具や環境を理解し、意欲的に活動している。(学びに向かう力・人間性等) 店員の立場で、客の要求をよく聞き、伝え合うことができる。(思考力・判断力・表現力)	

※第2次と第3次の間に生活単元学習として「絵と言葉を書いて、商品カードを作る」という活動を位置付ける。

- 6 本時のねらい 「花」の仲間集めをする活動を通して、言葉とものを一致させ、正しく表現し、表記することができる。「お店屋さんごっこ」を通して、店員と客に分かれ、正しく伝え合うことができる。

7 本時の展開

単元のきよみずガエル君 「おみせやさんごっこ」をするときにきをつけたことはなにか。

		A 児 (3年男子)	B 児 (3年男子)	C 児 (4年女子)	D 児 (4年女子)		
目標		話し手に体を向けて聞くことができる。客と店員の立場を理解して、相手に聞こえる声で話しながら「お店屋さんごっこ」ができる。	平仮名、カタカナ、漢字を使い分けて表記することができる。ものの数え方に気を付けて「お店屋さんごっこ」をすることができる。	反応しながら仲間の意見を聞くことができる。客が話す内容を正しく理解し、反復して確かめながら「お店屋さんごっこ」をすることができる。	ヒントカードを用いながら、自分の意見を発表することができる。商品の有無を確かめて、客に伝えながら「お店屋さんごっこ」をすることができる。		
		学習内容				留意点・援助	
基礎的な学習内容の定着		<ul style="list-style-type: none"> 「花」の絵カードを見て花の名前を発表する。 抽出した花の名前を正しく表記する。 				<ul style="list-style-type: none"> ○「仲間あつめ」で集まった下位語を掲示する。 ○正しく表記する手助けになるように、電子黒板にプリントの拡大したものを写す。 	
第1ブロック	つかむ	<ul style="list-style-type: none"> 手本を見ながらひらがなで丁寧に書く ひらがな、カタカナ、漢字を使い分けて書く 長音、拗音、促音に気を付けて書く 手本を見ながらひらがなで丁寧に書く 				<ul style="list-style-type: none"> ○前時までに獲得したポイントを掲示を使って確認する。 	
第2ブロック	課題	<p>ポイントにきをつけて、「おみせやさんごっこ」をしよう。</p>				○ポイントの表に個人のネームプレートを貼り、めあてを視覚化する。	
	できる	きこえるこえではなす	かぞえかたにきをつける	くりかえしてかくにんする	しょうひんがあるかないかをたしかめる	<ul style="list-style-type: none"> ○話型のカードを使い、応答の練習をする。 ○ものの数え方のパターンを書いた掲示物を用意する。 ○それぞれのめあてに近づく姿をその場で価値付ける。 ○A、Dの援助をしつつ、B、Cが手本になるよう声をかける。 	
第3ブロック	まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ペア学習で話型を確認する。 商品カードを並べる。 ペアで店員・客を決め、お店屋さんを開店する。 店員と客を交代して、お店屋さんを開店する。 ペアを交代して、お店屋さんを開店する。 ①AB ペア, CD ペア ②AC ペア, BD ペア 					
	振り返り	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人のめあてについて、みんなの前で振り返る。 きよみずガエル君の振り返りを全員で行い、ポイントを確認する。 				○一人一人が達成感を味わえるように、めあてに花丸をつけ、視覚的に分かるように工夫する。	

